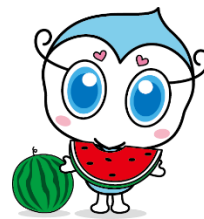


夏のボランティア体験月間の心構えやマナー

ーボランティアをする心構えやマナーを紹介しますー



🌸 ボランティア活動までの手順 🌸

※ コロナ禍での注意

夏ボラの参加者は原則、「大分県内在住」の方を対象とします。

他県に隣接する地域等で、体験希望者が県内の高校等に通学している場合は隣県在住の方でも受付可能とします。

大学、専門学校等で他県に出て、夏休みの帰省に合わせてボランティア体験を希望している場合は、帰省後 1 週間以上経ってからの活動となります。

1. ①ボランティア希望施設が決まったら、学校の先生や最寄りの社会福祉協議会に「夏のボランティア体験月間参加申込書」を提出してください。

※社協に申込みをせずに、当日や前日に直接施設の方へ連絡・訪問するのは控えてください。

- ②ボランティア活動をする時にはボランティア活動保険に加入しましょう。

基本プラン・・・350円（個人負担200円 社協負担150円）

※自分自身、相手のためにもボランティア保険には入りましょう。

※パンフレット未掲載施設へボランティアを希望される際の保険料は全額負担となります。



2. 体験日の一週間前までにボランティア活動施設の担当者へ連絡し、集合場所や時間・持ち物などの最終確認をします。

※ボランティア活動する前の施設との関係づくりになります！



3. 当日、ボランティア活動をおこなう。

※元気よくあいさつからスタート！自分自身の体調が1番大切なので無理はせずに！

※ボランティア手帳を持っている生徒は、担当者に手帳を渡しましょう。



4. ボランティア活動終了後、気をつけて自宅に帰りましょう。

※施設の利用者や職員の方に感謝の気持ちを伝えましょう！

※ボランティア手帳を持っている生徒は、担当者にスタンプとコメントをもらってください。

🌸 ボランティアの心構え 🌸

1. 自分の活動イメージをふくらませよう

「こんな活動がしたい」など目的を自分の中で確認しておくことも大切です。自分の思いを職員へ伝えると、より楽しいボランティアになります！

2. 必要な基本事項について確認しよう

体験日の2～3日前にはボランティア活動施設の担当者へ日程・時間など最終確認をしましょう。

3. 不安なことや心配なことは相談しよう

不安や心配なことは施設の職員に必ず相談しましょう。自分自身で答えを出してしまうことは、施設や利用者に迷惑をかける場合があります。

4. 相手の気持ちになって

ボランティア活動はひとりよがりであったり、押しつけであったりしてはいけません。常に相手の気持ちを考えて活動しましょう。

5. 利用者のプライバシーを守ろう

体験で知り得た利用者のことはすべて個人のプライバシーです。個人の情報は活動中・活動後も絶対に外にもらしてはいけません。

6. 施設の職員の指示を守ろう、話を聞こう

必要に応じて施設の職員の指示を守ることが求められます。施設の職員の話をしっかり聞き、多くのものを吸収しましょう。自分から質問して視野を広げることも大切です。

7. 「関係作り」を大切にしよう

利用者に自分の方から積極的に話しかけましょう。「心のつながり」を感じてみてください。施設の職員や入所されている方へのあいさつや言葉使いも、気持ちよく活動するために大切なことです。

8. 自分の中の「気づき」を大切にしよう

ボランティア活動は自分のことにも気づかせてくれます。心に余裕をもち、感受性豊かに自分で感じる事が大切です。

ボランティアとしてのマナー

- ☆ やむを得ず、活動予定日に欠席・遅刻する場合には必ず活動先へ連絡をしてください。
(活動先は準備をして待っています。事故にあったのではないかと心配します。)
- ☆ 活動中は携帯電話をマナーモードにし、必要以外は触らないようにしましょう。
(利用者が気になって触ってしまうことがあります。また、施設側にもあまり良い印象を与えません。)
- ☆ 数人でボランティアに参加した場合、友達同士で遊ばないようにしましょう。
- ☆ 動きやすい服装を心がけ、指輪・ネックレス・イヤリングなどはつけないこと。
長い爪は切っておくようにしてください。(装飾品や長い爪で利用者を傷つけてしまうことがあります。)

笑顔！元気の良いあいさつと自己紹介！感謝の気持ちとお礼の言葉を大切に

不安や緊張もあると思いますが、リラックスしていつも通りの笑顔を見せてね☆

